

# 足尾銅山の世界遺産登録を推進する会

## 会報

### 平成二七年度足尾銅山の世界遺産登録を推進する会総会

日時 平成二七年七月十一日(土)  
場所 日光市足尾公民館会議室

足尾銅山の世界遺産登録を推進する会総会にご来賓として、西川公也衆議院議員、上野通子参議院議員、高橋克法参議院議員、羽瀬 修世界遺産室長、前田博日光市教育長のご臨席のもと一時半より開催された。



神山勝次当会理事長の挨拶。

当会は創立から十年を迎えることになりました。この間、文化庁では暫定リストの再提案は受け付けていない中で、暫定リスト落選時に指摘を受けました史跡など普遍的価値の証明等の準備が日光市を中心に進められ、当会もその協力を出来る限り行ってまいりました。その結果として、国の重要文化財に「古河橋」が選定され、国の史跡指定として「宇都野火薬庫跡」、「通洞坑」、「本山坑」、「本山製錬所跡」、「本山鉱山神社」、「本山動力所跡」さらに、国の登録有形文化財として「古河掛

水倶楽部」、「足尾キリスト教会」、「わたらせ渓谷鐵道」が指定を受け、県登録有形文化財として「古河掛水重役住宅」が指定されております。

今、国の世界遺産登録の流れを見ると、暫定リスト一覽記載物件が残り十件となりました。

最近、国の世界遺産登録については文化庁指導から内閣官房の産業遺産国民会議が世界遺産候補を推薦、選定するという仕組みで展開されております。

今年皆さまご承知の通り、「九州、山口の近代化産業遺産群」が世界遺産に登録されました。この登録に大きく貢献されました内閣官房の国民会議専務理事でイコモス委員であります加藤康子女史が新聞紙上でこの次は足尾銅山を世界遺産にとの報道がありました。

加藤康子女史は日頃我々の世界遺産登録にご指導いただいております小野崎 敏氏と親交が深いという事でご紹介いただきましたことは私共にとりまして大変に心強い限りであります。そうして去一月十九日短時間ではありますが足尾銅山の主な産業遺産施設を視察し、評価と共に保存、管理についてご指摘を頂き、今後に向けて大きな励みとなりました。

また、文化庁では新たに日本遺産を新設し、その第一回応募が行われ、上野通子参議院議員には大変にお世話になりました。日光市「日本近代化の縮図・足尾銅山」は残念ながら落選しました。こ

の取り組みにつきましても今後審査委員のご意見を聞きながら進めてゆきたいと考えております。

また、この度、私共は足尾銅山観光にありまます日光市民センター二階に「足尾銅山文化交流館」を開設することになりました。これは足尾銅山を中心に足尾地域の情報発信の場として、各種団体の活動の場として、そして地域の方々との交流の場として活動してまいりたいと思っております。この施設開設に当たり、日光市には何かとご支援頂き厚く御礼申し上げます。

なお、総会後に、本日開館致します足尾銅山文化交流館をご覧いただきたいと思っております。

皆様には今後とも足尾銅山の世界遺産登録に向けましてご支援、ご協力を宜しくお願い致しまして挨拶に代えさせていただきます。

次に、ご来賓より世界遺産登録の近況について、また、当会に對しまして温かい励ましのご挨拶を頂きました。誠に有難く心より厚く御礼申し上げます。

議案第一号 平成二六年度事業報告の承認について  
平成二六年度収支決算の承認について、監査報告  
議案第二号 平成二七年度事業計画(案)の承認について、  
平成二七年度収支予算の承認について(案)

その他質疑応答  
閉会後足尾銅山文化交流館を見学し頂き、盛会のうちに総会、見学会は終了しました。(足尾銅山文化交流館の内容については七、八頁に記載。)

### 日光市主催 足尾銅山の世界遺産登録推進シンポジウム開催

日時 平成二八年三月二十六日(土)  
午後一時開会

場所 日光市足尾公民館

基調講演 講師 九州国際大学特任教授 清水憲一氏

史跡足尾銅山跡保存 管理計画策定委員

演題 「産業遺産と世界遺産」

研究発表 講師 宇都宮大学工学部 青木達也氏

テーマ 「足尾銅山における鉱害対策の変遷」

皆さまのご来場をお待ちしております。

### 足尾銅山産業遺産見学会

一・春の見学会

平成二七年六月二十三日(火)

日光市と古河機械金属(株)共催の春の産業遺産見学会が左記の場所で開催されました。

松木カラミ堆積場(写真上)  
本山製錬所跡(写真下)



松木カラミ堆積場



本山製錬所跡

まず、松木カラミ堆積場を見学。これまでの歴史的経過について古河機械金属(株)足尾事業所山崎副所長より説明を受けました。周囲はかなり緑が戻っているようであるが、現在進行形で、今後